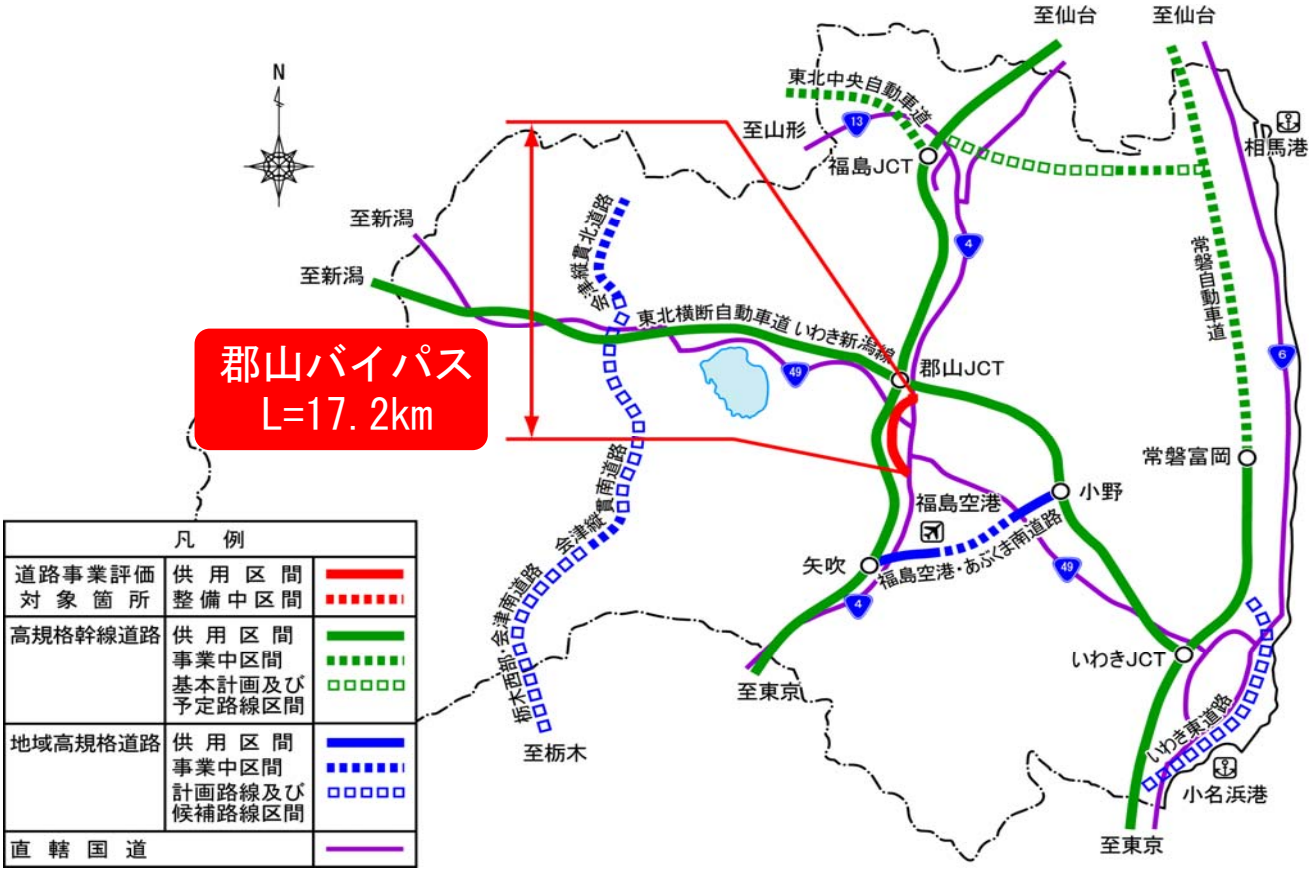
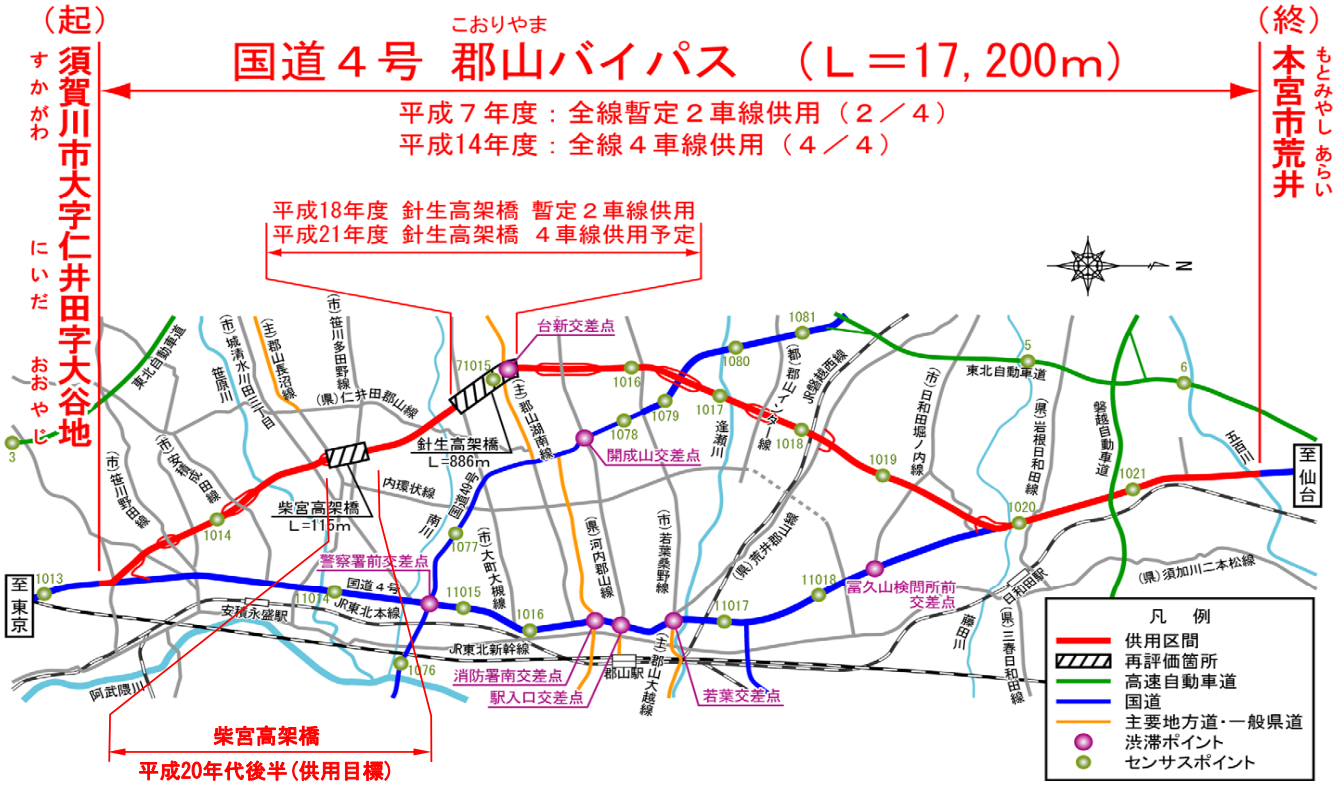
一般国道４号　郡山（こおりやま）バイパス



事　業　実　施　状　況



一般国道４号　郡山（こおりやま）バイパス

【評価要件：前回再評価後5年経過】

〇事業の目的

・郡山市街地の交通混雑の緩和
・物流の効率化
・交通環境の改善

〇延　　長　：　L＝17.2km

〇事　業　費　：　970億円

〇事　業　化　：　昭和49年度

〇進　捗　率　：　97%

事　業　の　投　資　効　果

〇費用便益比（B/C）

※下表の数値は、基準年（平成20年度）における現在価値に換算した金額を記載

※前回再評価時（平成15年度）より立体化区間で評価を実施

【残事業】

費用C（現在価値）	*25億円*
便益B（現在価値）	*190億円*
費用便益比　B／C	*7.6*

計画交通量（平成42年度）

・郡山バイパス＝39,700台/日　・現道＝30,100台/日

（参考）

費用便益比（B／C）

【前回再評価時のＢ／Ｃ】
【残事業】４．２　【全　線】３．０
【今回再評価時のＢ／Ｃ】
【残事業】７．６　【全　線】１．８

（前回再評価時の計画交通量）
郡山バイパス＝４７，０００台/日
現道　　＝３９，４００台/日
（今回再評価時の計画交通量）
郡山バイパス＝３９，７００台/日
現道　　＝３０，１００台/日

対　応　方　針　（　原　案　）

○早期整備の必要性が高い。
・郡山市街地の交通混雑の緩和
・物流の効率化
・交通環境の改善

○地元自治体等からの事業促進の要望がある。

事業を継続実施